

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：3 年

留学先大学：University of Jyväskylä

現在の学期：Autumn semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	16:15-17:45 Survival Finnish
火	
水	12:15-13:45 Intercultural Communication Competence
木	10:15-11:45 Survival Finnish
金	10:15-11:45 Intercultural Communication Competence
土・日	

履修科目や近況について

授業について

・ Survival Finnish では、フィンランドでの生活に支障がないよう、自己紹介から始まり、数字や曜日、月、文化等、留学生生活を豊かにするフィンランド語を学びます。最後はテストで成績が決定します。こちらで習った言語は非常に実用的で、実生活でも使っています。

・ Teaching Practice for International Students は、本来は教育学部の授業ですが教授に直談判をして履修をさせていただけることが決定しました。一席空きがあるとの話を友人から聞いたので、メールを送りつつ翌日の授業に出席してお願いをしました。こちらの授業では、小学校での 30 時間の観察と 1 回の文化を教える授業をすること、およびレポート提出が必須です。数時間の講義もあるようです。ホームルーム等に出席し授業を実施する対象となる自分のクラスが割り当てられます。私は 2 学年の B クラスの担当となりました。こちらは時間のある時に自由に小学校に出入りし観察をすることとなっているため、時間割には記入していません。

・ Intercultural Communication Competence は、私の指導教員である西住先生とも親交の深いロッタ先生とテイヤ先生が教鞭をとっている授業です。異文化間コミュニケーション能力について、実際のグループワークや話し合いを交えながら学習することがで

き、非常に興味深いです。

・Each One Teach One は、LEX プログラムのように、学生同士で母語を教えあう授業です。各言語合計 20 時間以上、毎回の Lesson ごとにブログを提出することで、最終的に単位をもらえます。LEX と最も異なる点は、活動が座学だけでなくても良いという点です。実際、先週にはボルダリングを通してフィンランド語でのチケットの交流（Survival Finnish で習った内容）と、色の名前を学びました。また、添付画像のように料理に関係のある単語の神経衰弱も行い、今週にその単語を用いた食材購入・料理の Lesson をする予定です。

履修について

・千葉大のように同じ教室ではなく、場所が毎回変わる（ある程度の固定・規則性はあるが変動する授業が多い）ので、移動が難しいです。特に、キャンパスが 3 個に分かれており、それぞれの移動が徒歩 15 分ほどなので、ミスをした時の取り返しがつかず大変です。

・大学の履修登録サイトやアプリに「Study calendar」「本日の授業」の機能が備わっているので安心です。

・自分の学部の授業でも、抽選に外れると履修登録が自動的に解除されます。どうしてもとりたい科目があったので教授に直接メールをすると、初回に来て席が空いていたら大丈夫と言ってもらいました。なので、直談判すると意外と要望が通る場合が多いです。逆に、初回授業には絶対に参加しないといけません。

その他の活動について

・授業のない期間は、学部生向けに開講されている日本語の授業のボランティアによく参加していました。こちらのボランティアでは、ALT のような立場や、学生の会話相手など授業のレベルにあわせた立場をお願いされます。ここで知り合った日本語に興味のある学生たちと交流するグループがあり、先日はみんなでプールに行きました。

・渡航前からお願いしていた、バイリンガルの幼稚園である Pilke play school でのボランティアも順調です。週に 2 回ほど、8 時半から 13 時ごろまで参加し、授業や遊び、クラフト、遠足等に参加しつつ参与観察をさせてもらっています。私の担当は 5～6 歳の pre schooler です。

・こちらで研究者として働いている日本人夫妻のお宅にお呼ばれする機会があり、その際にこちらの現地の中学校で日本文化を教える企画にお誘いいただきました。現在は、私が主導で計画を行い、11 月と 12 月に 2 回程中学校で実際に授業を行う予定です。

・9 月にタンペレ、ヘルシンキ、10 月にエストニアに旅行へ行きました。仲良くしているハンガリー 2 人、チェコ、アメリカの子たちと親交を深めています。

・9 月末に、City of light というイベントがありました。市内各所がライトに照らされ、お祭りのようで非常に楽しかったです。

生活について

- ・寮では、韓国人とハンガリー人の女の子と暮らしています。今のところ全くもめごともなく、仲良く生活しています。
- ・徒歩 10 分程度の場所に K supermarket と S supermarket があります。K よりも S のほうがはるかに安いので、おすすめです。寮から一番近い S マーケットは 24 時間営業です。
- ・留学先ということもあり常に少し気を張っているようで、基礎体力消費量が日本と大きく違います。そのため、日本の倍くらい何も予定のない時間や休日を設けないと、体調やメンタルのバランスが崩れてしまいがちです。バランスの良い食事と睡眠を心がけています。
- ・学食は、学生証を見せると一人 2.95€で食べることができます。寮周辺の学生村のレストランも同じ経営なので、お腹がすいたときは気軽に向かって食べる事が可能です。
- ・10 月に入り、気温が一気に下がりました。10 月前半から日中の気温は平均 5 度ほどで、スノーブーツ以外の持ってきた防寒具をすべてつけた状態での生活となっています。今後の気温の変化が怖いです。
- ・逆に、夏は想像よりも暑かったです。半袖、長袖ともに T シャツ等の軽装をもっと持ってくればよかったと後悔をしました。
- ・こちらのセカンドハンドストアは非常に安いです。安ければ 4€ほどで薄手のセーターを購入することができます。足りない服は基本的にセカンドハンドでそろえています。
- ・こちらでは、基本的に自転車で生活をしています。Student Bike というおじいさんが 1 人で運営しているレンタルサービスが人気で、私もそこで 69€+デポジット 30€で借りました。多少の傷などは問題なく、紛失部品や本体の紛失がなければ 30€が返ってくる仕組みです。逆に、盗難にあっても 30€で済むので、保障という面では個人間の貸し借りよりも安く、安心なのでおすすめです。
- ・バスは、Linki のアプリを用いて調べるのがおすすめです。シティセンターにある事務所に行くと、学生割引専用の電子カードを 5€で購入することができます。こちらはスイカのようなもので、今後はオンラインからチャージをすることが可能です。通常市内なら片道 3€のところを、1.6€位で移動できるようになるため、おすすめです。

画像は、上から

- ・図書館棟の教室
- ・学食
- ・学生村 A 棟、サウナから出られる屋上からの景色（昼・夜）
- ・大学図書館
- ・寮の裏にある湖
- ・Agora キャンパスから見る湖
- ・大学の真横にあるボルダリング施設

- ・紅葉
 - ・City of light
 - ・寮から徒歩 30 分ほどの湖での様子
 - ・レンタルした自転車
- です。













